



■ボランティア活動をもっと豊かに広げたい！

あなたの「できる」＜存在・スキル＞ことと「やってみたい」＜自発性＞ことが、誰かに「求められている」＜使命・役割＞こととつながったとき、ボランティア活動がはじまります。

(公財) とっとり県民活動活性化センター (以下「センター」) では、ボランティア活動支援の一つの試みとして、平成 26 年から「とっとりプロボノプロジェクト」を立ち上げています。プロボノとは、“公共善のために”を意味するラテン語「Pro Bono Publico」を語源とする言葉で、社会・公共のために職業上のスキルや専門的知識を活かしたボランティア活動です。ボランティア参加が比較的少ないと言われる 20～40 代をターゲットに個人の立場で登録いただき、①4～6名のチームを組んで ②週5時間程度、6ヶ月の期間限定で ③ミーティングは月1回程度、メールを中心に ④成果を出すことにこだわって、NPOなどの組織支援に入っただけで、地域課題の解決に挑んでいる人々との「出会い」、自らのスキルを試し、成果につながる「達成感・自己効力感」、職場の枠を超えた新たな「つながり」など、無償だからこそ「お金に代えられない報酬」が得られることが大きな魅力です。



月数回程度行われるプロボノのミーティング風景

次に、私が以前仲間と取り組んでいたボランティア活動を紹介します。「10代の保育ボランティア活動」と言って、10～19歳までの子どもたちが0～9歳の子どもたちを対象に行う保育活動です。主に赤ちゃんを10代の大学生や高校生がみて、幼児を中学生がみて、小学校低学年を小学校高学年がみるのですが、遊び上手な社会的な高校生が好きな幼児もいれば、物静かで内気な高校生に近づいてくる小学生もいます。技術ではなく、個性が活かされることで成立するボランティア活動で、なによりボランティアをする

側の子どもたちが元気になります。また、この活動を通して、10代の子どもたちは若い親たちとの交流の機会も得られ、将来の姿を重ね合わせることもできます。

花が好きだからできること、背が高いからできること、戦争体験があるからできること、不登校の経験があるからできること、発達障がいの子を育てたことがあるからできること、大学院まで学ぶ機会があったからできること、長年公務員として働いてきたからこそできることなど、ボランティア活動は、子どもからお年寄りの方まで、障がいがある人でも、忙しく働いている人でも、“誰にでも”できます。でもそれは代わりが効くという意味ではなく、それぞれの個性や経験でという意味で、“かけがえのないあなたにしかできない”活動です。

昨年、鳥取市で開催されたとっとり県民カレッジ連携講座『未来をひらく鳥取学【東部会場】』では、「やりたいこと」「できること」「やるべきこと」を一人ひとりに出してもらい、みんなで考えたボランティア活動を模造紙いっぱい書き出してもらいました。様々なアイデアが出されましたが、「スペイン語が話せる」「自転車の修理ができる」「書類作成が得意」など、『『できること』は多く、自分を活かせるボランティア活動はたくさんある』という声があがりました。一方、「ボランティア活動に誘われる機会が少ない」という意見もありました。

ニーズや困りごとに対して、身近なところで「やりたいこと」「できること」がつながれば、ボランティアに参加する時間がとれないと言われる若い世代であっても、自分を活かせる機会は広がるのではないのでしょうか。



10代の保育ボランティア活動

■誰でも参加できる寄付による社会貢献のしくみを広げています！

クラウドファンディング「FAAVO鳥取」、寄付つき商品開発・普及事業「お買い物チャリティー」など、共感による資源循環のプログラムを使って、寄付の醸成を図っています！

センターでは、誰もが社会課題の解決につながる活動に参加できるように、前述のプロボノのほか、「地域みんなが集まることも食堂を立ち上げたい」「古民家を修復してゲストハウスをはじめたい」など、課題解決にむけた様々なアイデアを公開し、ネットを通じて共感した人たちから、広く資金を集めるクラウドファンディング「FAAVO鳥取」の運営を行っています。また、「二輪車のオイル交換1回につき100円が復興ボランティア活動に」「コーヒーを飲みに来たお客さん一人につき5円が子育て支援活動に」など、地元の企業が提供する商品・サービスなどの売上げに応じてその一部を県内のNPOなどに寄付する寄付つき商品開発・普及事業「お買い物チャリティー」を広げています。

ボランティアや寄付活動が、単に役務や金銭の提供に終わらず、豊かで開かれた人間関係、社会関係をつくりだすしくみとして活かされるように、みなさんとともに歩んでいきたいと思っています。



二輪車のオイル交換1回につき100円が復興ボランティア活動に！
企業名：㈱ライダーズスポット ムラタ

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター【愛称：ととり】は…

ボランティア・地域づくり・NPO活動を総合的に支援し、県民参加と多様な主体の連携・協働による持続可能な地域社会づくりをすすめています。

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター【愛称：ととり】は、平成26年1月23日に鳥取県と県下19の市町村の拠出で一般財団法人として設立され、平成27年4月1日に公益認定を受け、現在に至っています。倉吉パープルタウン2階に事務所を構え、東部（県庁6階）、西部（県西部総合事務所1階）にも職員を常駐させ、県内3ヶ所に相談窓口を設けています。

「ボランティア団体を立ち上げたい」「NPO法人などの非営利法人を設立したい」「組織運営や事務に困っている」「資金調達の方法や助成金の情報を知りたい」「後継者を育てたい」など、ボランティア活動、NPO活動、地域づくり活動の団体設立や事業の立ち上げ、組織運営、資金調達、人材育成などに関わる相談を受け、地域課題の解決に向けて「参加」を促し、多様な主体と協働して「成果」を出すことができるNPOなどの育成・支援に努めています。

響かせよう トットリズム♪ を合い言葉に、東・中・西部の3拠点から支援活動をすすめています。

●東部とっとり創生支援センター

TEL (0857) 26-7969
県庁6階 東部振興監
東部振興課内
[活性化センター職員]
寺坂
平日 8:30 ~ 17:15

<とっとり県民活動活性化センターの主な支援事業>

- ◆相談対応（窓口対応、出張訪問、専門家による出前相談、伴走型支援）
- ◆事務力支援、ボランティアマネジメント、助成金活用講座などの開催
- ◆ボランティア・寄付などの資源循環、資金調達支援
 - 社会人・若者ボランティア（プロボノ）の推進
 - 寄付つき商品「お買い物チャリティー」の開発・普及
 - クラウドファンディング（FAAVO鳥取）の活用支援
 - 補助事業（地域づくり企画研修、広報、控除対象NPO法人指定支援）
 - 民間協働型活動支援事業
 - 中国ろうきんNPO立上げ助成、中国ろうきんNPO寄付システム
 - ごうぎん「地域おこし型」私募債寄贈、あいおいニッセイ同和損保助成
 - 損保ジャパン日本興亜「SAVE JAPANプロジェクト」
 - とっとりイーパーツリユースPC寄贈、カンバイチャリティーなど

- ◆情報誌『いまと、これから。』、機関紙、ウェブ、SNS、メルマガなどによる情報発信
- ◆調査・提言（NPO経営実態調査、非営利組織のための「第三者組織評価」制度普及など）
- ◆地域・社会課題の解決にむけた元気づくりのネットワーク形成
- ◆震災復興活動支援（復興ボランティア、自主防災組織づくり、支え愛マップ作成支援など）

●西部とっとり創生支援センター

TEL (0859) 31-9694
県西部総合事務所
1階 西部振興課内
[活性化センター職員]
樫
平日 8:30 ~ 17:15

●とっとり県民活動活性化センター本部

[活性化センター職員] 毛利（事務局長）、白鳥、池淵、谷、尾崎、世瀬、上山 平日 10:00 ~ 18:00
倉吉市山根 557-1 パープルタウン2階 TEL (0858) 24-6460 / FAX (0858) 24-6470
メールアドレス info@tottori-katsu.net ホームページ http://tottori-katsu.net/

●中部とっとり創生支援センター

TEL (0858) 26-6262 [担当] 谷

●震災復興活動支援センター

TEL (0858) 26-2954 [担当] 白鳥